

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 ユニバーサルツーリズム推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部
 観光文化スポーツ政策課
 サステイナブル・ツーリズム推進室
 サステイナブル・ツーリズム推進係

電話番号：058-272-8084(内3915)
 E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,867千円 (前年度予算額： 3,185千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 財 源
前年度	3,185	0	0	0	0	0	0	0	3,185
要求額	2,867	0	0	0	0	0	0	0	2,867
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

世界中でSDGsへの関心が高まる中、本県が世界から「選ばれる旅先」となるには、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に基づき、誰もが安心して旅行を楽しめる環境整備が求められる。

本県は、UN Tourism(世界観光機関)が推進する「持続可能な観光地づくり国際ネットワーク(INSTO)」に日本で唯一加入し、指標の設定及び定期的なモニタリングにより持続可能な観光を推進しており、必須指標である「アクセシビリティの確保」に取り組んでいる。

さらに、2026年「アジアパラ競技大会」開催を見据え、高齢や障がいの有無、国籍等に関わらず、誰もが気兼ねなく県内旅行を楽しめる環境整備を進めるため、施設のバリアフリー状況に関する情報発信を行うとともに、観光事業者の意識啓発を図る研修会を開催する。また、地域と連携し、新たに「アウトドア」を切り口として、ソフト・ハード両面における受入環境整備を推進していく。

(2) 事業内容

- ①WEBサイト「ふらっと旅ぎふ」の管理・運営(546千円)
- ②岐阜県バリアフリー観光推進協議会の開催(35千円)
- ③ユニバーサルツーリズム普及・啓発事業(1,682千円)
- ④アウトドアのバリアフリー化に向けた実証事業(604千円)

(3) 県負担・補助率の考え方

県内全体を対象にしており、県負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	110	職員旅費
委託料	2,757	普及啓発セミナー、情報発信、協議会の開催 等
合計	2,867	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり

第4期岐阜県障がい者総合支援プラン

3 福祉のまちづくりの推進

(1) ひとにやさしいまちづくりの推進

(2) 国・他県の状況

・「バリアフリー観光」に関する予算の有 22団体／47団体

・「バリアフリー観光」に関する調査の有 15団体／47団体

(3) 後年度の財政負担

誰もが安心して県内を旅行できる環境を整えることは、SDGsの理念に即した取組であり、県として必要な事業である。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

2026年「アジアパラ競技大会」の開催も見据え、誰もが安心して県内を旅行できるよう、きめ細やかな情報発信や、県民、観光関係者との心のバリアフリー化を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①観光消費額		4,013億円	3,300億円	3,450億円	3,600億円	111.5%
②観光入込客数 (実数)		4,470万人	4,900万人	5,100万人	5,300万人	84.3%
③ふらっと旅ぎ ふPV数		15.9万PV	16.6万PV	17.3万PV	18万PV	88.3%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	
令和5年度	ユニバーサルツーリズム推進のため、岐阜県バリアフリー観光推進協議会を開催した。あわせて、普及啓発セミナーの開催や、専用Webサイトによるバリアフリー情報の発信を行った。
	指標①目標：2,900億円 実績：3,044億円 達成率：105.0%
令和6年度	ユニバーサルツーリズム推進のため、岐阜県バリアフリー観光推進協議会を開催した。あわせて、普及啓発セミナーの開催や、専用Webサイトの改修、モデルコースの造成・ブラッシュアップを行い、専用Webサイトでバリアフリー情報の発信を行った。
	指標①目標：3,100億円 実績：4,013億円 達成率：129.5%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	「誰ひとり取り残さない」というSDGsの理念に即し、多様化する観光ニーズに応えることは、県の責務であり、県の関与は妥当
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない
(評価) 2	セミナーへの開催や専用Webサイトによる情報発信を通じて、県内のユニバーサルツーリズムの普及啓発・情報発信に寄与している。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている
(評価) 2	普及啓発セミナーを対面とオンラインのハイブリッド開催とするなど、遠方地域の方にも配慮し、多くの観光事業者に参加いただいている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

多様化する観光客のニーズに応えるため、心のバリアフリー化に対する観光関係者の理解促進が必要

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
「アクセシビリティの確保」は、INSTOにおいて必須事項と位置付けられており、毎年取組状況の報告が求められている。また、高齢化やインバウンドの増加が進む中、必要性は増しており、継続してユニバーサルツーリズムの推進に取組む。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	